

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	雨水排除施設の整備事業			
担当部・課名	下水道工務課	評価者(課長)	小林健二	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600507	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(7)雨水排除施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	浸水対策が必要な地域内の市民	事業の目的(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ●徳山駅ロータリー、地下道及び周辺商店等の浸水を解消、軽減する。 ●富田西部区画整理内の浸水を解消、軽減する。 ●川崎・南浦山地域の浸水を解消、軽減する。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●徳山駅前の浸水を解消するため、徳山駅周辺の整備事業と連携を図りながら、雨水函渠の増強を効率的に整備する。 ●富田西部区画整理内の浸水を解消するため、区画整理事業などと連携を図りながら、雨水函渠やポンプ場を効率的に整備する。 ●川崎・南浦山地域の浸水を解消するため、県道拡幅事業などと連携を図りながら、雨水函渠を効率的に整備する。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
都市浸水対策達成面積(平成31年度)		概ね5年に1度起こると予想される規模の大雨に対し、整備が完了している区域の面積	ha	28年度	771.7	771.7	
				29年度	771.5	773.0	
				30年度	100.0%	100.2%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	659,500	454,500	472,000	438,500	785,500
(予算額)	うち一財	千円					
(決算額)	直接事業費	千円	503,304	536,004		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円				他事業との連携による事業調整を図ったため	同左
	正職員人件費	千円	27,476	22,472			
	人工数	人	3.75	3.05	2.95		
	支出コスト	千円	決) 530,780	決) 558,476			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	徳山駅北口の雨水函渠増強工事は平成26年度で完了した。現在は駅南口の雨水函渠整備を行っている。富田西部区画整理区域内の雨水函渠整備は平成28年度にJR横断部の施工について、JRと基本協定を締結した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 雨水排除施設の整備は用地買収、移設補償など困難な諸条件を解決する必要がある。また国庫補助が要望額を下回った場合、事業進捗に影響を及ぼす。	
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	概ね都市浸水対策面積は目標を達成しているが、富田西部区画整理内及び川崎・南浦山の雨水対策において、工事と移設補償が平成29年度内に施工が完了しないため、次年度に業務を繰り越した。
	事務事業の方向性	雨水排除施設の整備は、市民の生命と財産を守る重要な事業であるが、事業の完成までには長い年数と膨大な予算が必要であり、経済的、効率的に事業を推進するため計画的に事業を進めなければならない。	評価責任者コメント	安心安全に係る重要な事業である。しかしながら、雨水対策は、一般会計が費用負担をする事業であるので、問題のある箇所を短期間で解消することは不可能である。局財政課、市長部局財政課と連携し、計画的な実施が不可欠である。	

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
富田西部区画整理区域内の浸水を解消するため、富田中央雨水幹線の整備を行っている。区画整理事業との調整を図り、JR横断等の優先事業を予算計上した。また、徳山駅南口の雨水函渠整備は、平成31年度で1期事業が完了の予定である。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	徳山駅南口広場付近浸水対策事業	徳山駅南の県道及び周辺宅地の浸水被害を解消、軽減	徳山駅南口の県道(通称:産業道路)に雨水函渠(W1.2m×H1.0m、W1.1m×H1.0m)を60.4m布設した。	25,062	0.65	0.00	
				否			
②	富田土地区画整理区域内雨水函渠整備事業	富田西部区画整理内の浸水被害を解消、軽減	JR横断部の雨水函渠新設について、JRと年度協定を締結した。また支障となる物件の移転補償契約を締結した。	275,849	1.30	0.00	
				否			
③	川崎・南浦山雨水函渠整備事業	川崎・南浦山地域の浸水被害を解消、軽減	県発注の県道中央通線の拡幅工事に合わせて雨水函渠(W2.0m×H1.1m～W0.6m×H0.5m)を447.8m発注した。	235,093	1.10	0.00	
				否			
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	上下水道施設の長寿命化・耐震化事業			
担当部・課名	下水道工務課	評価者(課長)	小林健二	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	老朽化した下水道汚水管渠及び合流管渠	事業の目的(意図)	老朽化した下水道汚水管渠の維持管理費の増大に対応するため、経済的・効率的な管渠の布設替え・更生を行うことにより経営の安定化を図る。
事業の内容(手段)	老朽化が進む下水道汚水管渠及び合流管渠の長寿命化計画を策定し、計画に基づき国庫補助金事業として経済的・効率的に管渠の布設替えまたは更生を実施する。 ストックマネジメント計画を策定し、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点を踏まえ、計画的・効率的な改築を実施する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	管渠の布設替え・更生延長(平成31年度)	長寿命化計画に基づいた施工済み(管渠の布設替え・更生)延長	km	目標値	3.9	3.9	3.9
実績値				2.2	2.5		
達成度(%)				56.4%	64.1%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	70,000	117,200	74,200	163,500
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	24,412	126,341		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円				長寿命化工事の事業精査による	同左
	正職員人件費	千円	18,318	26,893			
	人工数	人	2.50	3.65	3.35		
	支出コスト	千円	決) 42,730	決) 153,234			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成25年度に汚水管渠及び合流管渠の長寿命化計画を策定し、平成25年度から5年間、計画に基づき管渠の更生及び更新を進めている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 長寿命化計画を策定し管渠の更生及び更新を進めてきたが、今後はストックマネジメント計画策定が補助金交付の条件に移行したため早急な計画策定が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	事業目標において、管渠の布設替え・更生延長が目標より若干下回っている。
	事務事業の方向性	下水道事業は多くの社会資本(ストック)を有しており、今後、持続可能な事業推進には計画的に社会資本の更生、更新を行わなければならない。従ってストックマネジメント計画の策定は下水道事業の経営安定には欠かせない。		評価責任者コメント	ストックマネジメント計画策定後は、計画的に事業を行っていくこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
長寿命化計画に基づき、老朽化の著しい管渠の改築・更新を計画的に進める。 また、硫化水素により劣化の著しい大島地区の管渠改築を行う。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	上下水道施設の長寿命化・耐震化(下水道施設)	長寿命化計画に基づき効率的、経済的に管渠の更生、更新を実施する。	下水道合流管渠の更新を222.3m実施した。	126,341 否	3.65	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	汚水処理施設の整備事業			
担当部・課名	下水道工務課	評価者(課長)	小林健二	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	公共下水道の未整備地域の市民	事業の目的(意図)	早期に水洗化を行い、生活環境及び周辺環境を改善する。
事業の内容(手段)	下水道事業計画区域において未整備地域の整備方針を策定し、整備方針に定められた優先順位の高い市街化区域及び用途地域内から整備を進める。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	97.1	97.1	97.1
					実績値	95.6	93.9	
					達成度(%)	98.5%	96.7%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	109,000	165,000	117,100	129,000
	うち一財	千円					
(決算額)	直接事業費	千円	86,324	158,859		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円				要整備地域の精査による	同左
	正職員人件費	千円	20,516	8,105			
	人工数	人	2.80	1.10	1.30		
	支出コスト	千円	決) 106,840	決) 166,964			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	公共下水道未整備地域のうち、熊毛地域、鹿野地域は計画区域から削除した。未整備地域における整備の基本方針を決定し、市街化区域及び用途地域内の整備を優先して行うこととした。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 未整備地域は道路に地下埋設部が輻輳している、道路が狭隘である等の地形条件が悪いことから、経済性・効率性を考慮した整備工法を決定する必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 市街化区域において、下水道管渠を布設する道路がないため宅地の一部に布設する計画であったが、地権者の合意が得られず整備することができない地域があった。
	事務事業の方向性	下水道計画区域の中で、市街化区域でも30年以上整備されていない地域がある。市街化区域は下水道以外での水洗化ができないため、市街化区域以外で着手していない地区は計画区域から削除し、市街化区域は整備を優先して実施する。	評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり、進める必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
市街化区域及び用途地域の未整備地域のうち、優先度の高い地区の整備を行う。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	汚水処理施設の整備	下水道の整備困難地域において早期の水洗化を行う。	供用開始区域を3.5ha拡大した。	158,859 否	1.10	0.00	
②							
③							
④							
⑤							